

バリデーション審査結果等の概要

平成 22 年 4 月 28 日
気候変動対策認証センター

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	鹿島グループ・バイオディーゼル活用プロジェクト						
申請受理日	2010年2月19日						
プロジェクト代表事業者	鹿島建設(株)						
プロジェクト事業者	鹿島建設(株) (株)都市環境エンジニアリング						
プロジェクト参加者	なし						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	鹿島建設(株) (株)都市環境エンジニアリング						
プロジェクト概要	<p>鹿島建設(株)のグループ会社である(株)都市環境エンジニアリングは、東京都、川崎市、横浜市における一般・産業廃棄物の収集・処理業を営んでおり、商業施設からの廃食油の回収も行っている。これまで、回収した廃食油は、有償で塗料等の原料として他業者に処理を委託していた。同社は、廃食油の有効利用と温室効果ガス削減を目的とし、2008年4月からバイオディーゼルの製造・活用を開始した。本プロジェクトは、鹿島グループとしてバイオディーゼル燃料の製造・活用の展開を図るべく、都市環境エンジニアリングが廃食油を回収、バイオディーゼルの製造を行い、これを同社の廃棄物回収車の一部（現状では11台）、及び鹿島建設の建設工事における建設機械等の燃料（中央環状品川線シールドトンネル（北行）工事におけるディーゼル・ロコ用発電機燃料）として活用することにより、温室効果ガス排出削減に貢献するものである。</p>						
プロジェクト期間	2008年4月8日～2013年3月31日						
クレジット期間	2009年4月1日～2013年3月31日						
想定削減量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	—	131	324	310	275	1,040
ポジティブリスト	No. E. 004						
方法論	JEAM 004（廃食油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用に関する方法論）						

(2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に現地でインタビューを行った。適宜修正が行われた結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件（C）	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に現地でインタビューを行った。適宜修正が行われた結果、当プロジェクトの申請書における方法論JEAM004の適用は、実施規則及びポジティブリストNo.E004に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。
排出量・吸収量算定（I・II）	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に現地でインタビューを行った。適宜修正が行われた結果、当プロジェクトの排出量算定は、方法論JEAM004及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。
モニタリング計画（III～VI）	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に現地でインタビューを行った。適宜修正が行われた結果、当プロジェクトのモニタリング計画は、方法論JEAM004及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。
その他の論点	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に現地でインタビューを行った。適宜修正が行われた結果、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況（環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施は法令等で要求されていないため除く）を確認した結果、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
認証運営委員会への推奨	<p>このバリデーション業務の基準は、業務のリスクを勘案して策定した計画に基づいて、意見表明の基礎となる合理的な保証を得ることを求めている。バリデーションは試査を基礎として行われ、ポジティブリストや適格性基準への整合性の確認、法令順守、環境影響評価、パブリック・コメントへの対応、ベースライン排出量・プロジェクト排出量・排出削減量の算定方法、データのモニタリング方法、事業者が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定報告書における記載の検討も含んでいる。これらの手続により、バリデーションチームは、意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。</p> <p>以上から、バリデーションチームは、鹿島建設が作成した「温室効果ガス排出削減プロジェクト申請書」及び「モニタリングプラン」が、上記基準等に基づいた審査の結果、デスクレビュー、現地審査及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度、ポジティブリストの適格性基準、方法論に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

(3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
意見募集期間中にいただいたご意見はなかった。	

(4) 認証運営委員会の結果

第13回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年4月28日）においてプロジェクト登録が承認された。